

第12回のインタビューは、「ストーンアート」作成をした
大竹中学校 美術部の部員さんです。



部長
吉村瑞葉さん



副部長
永野朋花さん



副部長
松岡ほの香さん

第12回
スマイル
インタビュー



このたびは、大きな石に「こいちゃん」の絵を描いてストーンアートを作られたのですが、これまで作ったことがありますか？

初めてです。

どのようにしてみんなで作ったのですか？



ストーンアート(こいちゃん)

まず構図を作成し、ストーンアートの石に似た形の小さな石に絵を描いてみました。その後実際に石に下絵を描いた後に色を塗り仕上げました。

普段は作品づくりの時に共同作業をすることがないので、面ごとに担当を決めて作業しました。

難しかったことはありますか？

こいちゃんを描くことと、描くための石が決まっていたので、石に合わせてこいちゃんの絵の形をとらなければいけないことや、人によって絵の具の濃淡が違うので色を合わせるのが難しかったです。

でも塗っているうちに、だんだん慣れて楽しくなってきました。

また作ってみたいと思いますか？

やってよかったなと思っているので、機会があれば作ってみたいですね。石の形を活かしやすいので、描くなら動物を描いてみたいと思います。



ストーンアートの今後の管理について何か考えがありますか？

色あせたストーンアートをみると悲しくなるので、後輩たちに描き方などノウハウを伝えてメンテナンスができるようにしていきたいと思っています。それに、私たちが高校生になっても中学校に来て伝えることはできると思います。



あとがき

多くの市民の皆さんと協議検討を進め、まちづくりの未来を表現した第5次大竹市総合計画の一部が見直され、後期基本計画としてスタートしています。併せて策定されている大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略により、具体的な事業がおり込まれた、平成28年度予算が執行され既に1ヶ月が過ぎました。

平成の大合併時期から大きく変化し続けている、地方自治。行政組織も様々な制度変更を伴い、変革が続けています。

わたくしたち議会も今をチャンスとして、変わり始めています。昨年からは議会報告会をスタートして、本年度も回を重ねる準備が進んでいます。議会改革を推し進めることで、行政・議会がそれぞれの役割を深めつつ、これからの大竹市を創り上げていきます。

広報広聴特別委員

委員長
副委員長

山崎年一
和田芳弘
末広和基
賀屋幸治
北地範久
西村一啓
日域究

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

発行・平成28年5月1日 大竹市議会

広島県大竹市小方二丁目11-1

Tel 0827-5912183